

令和4年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 令和4年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 令和4年8月22日（月曜日）18時00分から19時00分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁第一別館3階第3会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局7名、法人7名
- 5 審議事項（議事）
 - 令和3年度業務実績評価書（案）について
 - 第2期中期目標期間業務実績評価書（案）について
- 6 審議の内容（全部公開）

公立大学法人愛媛県立医療技術大学の令和3年度及び第2期中期目標期間における業務実績評価書を原案どおり決定した。

【主な質疑等】

（1）令和3年度業務実績評価書（案）について

（教育・学生支援）

○今回Ⅱの評価となった国際交流について、今後はどうしていこうと考えているか。
⇒本学と先方の学期のずれからスケジュールが合わずオンライン交流の機会も持てなかったため、今後はもう少し早い段階でスケジュール調整をしていきたい。また、オンラインでの交流以外の方法も検討したい。

○コロナにより実習や講義、試験に影響のあった学生に対する対応は行っているのか。
⇒陽性者や濃厚接触者に限らず、感染が疑われる学生は欠席扱いにしないというルールを作っている。また、オンラインでの授業参加や授業の録画を後日視聴してもらうなど、丁寧にフォローしている。ただ、コロナ以外での欠席者との公平感に疑問があるため、そこは引き続き検討していく。

（2）第2期中期目標期間業務実績評価書（案）について

（学生支援）

○卒業生のフォローのため、同窓会名簿の活用を検討してはどうか。
⇒3年程前から、大学時代に使用していたメールアドレスを卒業後も使用できる仕組みを整えて様々な情報を発信している。卒業生とも繋がる状況を整えられたことは、第2期の進展といえる。ただ、送信したメールをいかに見てもらうかということには課題が残るため、見てもらえるような仕掛けを検討していきたい。

(県内就職率)

○県内就職率向上のため、学生のレベルを下げずに県内出身入学者の比率をどう上げるかが大きな課題であると思うが、目標の修正追加も必要ではないか。

⇒確実に県内出身入学者を獲得できるのは学校推薦型選抜である。現在、国の制度では50%まで推薦で入学させることが可能であるが、本学では、学生のレベルを確保するため36~37%に留めているのが現状である。人数と学生レベルのバランスのとり方を考えながら、ご助言いただいた目標の修正追加についても検討したい。

○県内就職率向上のため、アドミッションポリシーに愛媛県の地域社会に貢献する人を求めることを記載したり、入試の地域枠を作る等の方法があると思うので検討してほしい。

⇒今年度の入試から、助産学専攻科で地域枠を設定する予定で文科省に申請している。これが実現すると、県内就職率がもう少し上がると期待しているため、助産学専攻科の状況を見ながら、学部の入試についても適用するかどうか検討したい。

○看護学科と臨床検査学科では、出願倍率や県内就職率に違いはあるのか。

⇒臨床検査学科は愛媛県で本学しかなく、全国的にも多くないため出願倍率の増減はあまりない。看護学科では、倍率が高かった翌年度は低くなり、その翌年度はまた高くなるという隔年現象は見られるが、大体2倍を少し超えたあたりで推移している。県内就職率については、毎年どちらの方が高いというわけではないが、臨床検査学科の学生については、県内出身者はほとんど県内に残っている。

(3) その他

○開学から約40年が経過し、老朽化した施設の建て替えも必要になってくるのではないか。中期目標に書き込んでほしい。

⇒必要なものは随時予算措置して改修を行っているが、老朽化も著しい状況にあると思うので、県と大学で協議検討し必要な対応をとっていきたい。

○コロナ禍で保健師の不足が決定的であった。保健師の養成は大学の使命である。

⇒これまでは保健師受験資格がとれる選択科目の受講者数を制限していたが、来年度4年生になる学生からは、希望者全員が受講できるようカリキュラムを変更した。

[事務局]

保健福祉部社会福祉医療局

保健福祉課調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004